


2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

よいことの
ために
手を取りあおう

U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也
●幹事 草村安宏

 No.1926 令和 08 年 01 月 07 日 第 22 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


■ 2026 年 熊本市域 RC 新春合同例会プログラム

期日／2026 年 1 月 7 日（水） 11:30 受付 12:30～14:30

会場／ホテル日航熊本 5 階「阿蘇」

■ < 黙 祷 >

< 例会 >

(司会 熊本西陵 RC S.A.A. 迫立 武)



■ 開会・点鐘

(熊本西陵 RC 会長 益田 博文)

■ 国歌斉唱「君が代」

■ ロータリーソング

「奉仕の理想」

(熊本西陵 RC ソングリーダー 丸谷 均)



■ 会長代表挨拶

(熊本西陵 RC 会長 益田 博文)



三が日の寒波もいくぶん和らぎ、穏やかな日和のもと、本日を迎えることができました。皆様、本年もよろしくお祈りします。

今年度、熊本西陵ロータリークラブ会長の益田博文でございます。職業分類は弁護士、ロータリー歴 15 年です。本日は何卒よろしくお願い申し上げます。

ご来賓の皆様、ロータリアンの皆様におかれましては、年初にてご多忙のところ、「熊本市域ロータリークラブ新春合同例会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。ホストクラブを代表し、厚く御礼申し上げます。

2025 年・2026 年国際ロータリーのテーマは「よいことのために手を取りあおう」ですが、本日 300 名を超えるロータリアンの皆様にお集まりいただき、奉仕の実践に向け、大変心強く感じます。

昨年を振り返りますと、8 月 10 日からの大雨は県内に人的・物的に甚大な被害をもたらし、以前の生活や生業を回復できないまま新年を迎えた方々もたくさんおられます。被害に遭われた皆様の苦難に深く思いを致し、心よりお見舞い申し上げます。また、海外では戦火は収まらず、一部の国家間では対立が深刻化しており、我が国にも多大な影響を及ぼしております。国内では、物価高が企業活動、国民生活に影響を与え、子どもの貧困問題が顕在化する等、毎朝、新聞に目を通す度に、我が国に暮らす人々、世界中の人達が、心穏やかに暮らす日々が到来することを願うばかりでした。

他方で、県内では、平成 28 年の熊本地震、令和 2 年 7 月豪雨災害、昨年 8 月の豪雨災害からの復興が着実に進んでおり、また、将来を見据えたインフラ整備、地域振興が着々と進められております。スポーツでは、大相撲県内出身力士の方々をはじめ、郷土のスポーツ選手の活躍が、私達の大きな励ましとなりました。そして、障がいを持つ方々への支援の拡充、自治体トップの平和への思いの発信等を、私は、県民・市民として大変誇らしく思った一年でした。

アメリカにおいて、シカゴ・ロータリークラブが誕生した 1905 年当時と現代は、社会、経済のありようにおいて大きく異なりますが、私達を取り囲むあらゆるものの変化のスピードが加速する現代において、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、というロータリーの 5 つの中核的価値観は一段と重要性を増しており、また、ロータリークラブの奉仕を必要とする多数の方々の期待に応える必要があると思います。

今年度国際ロータリー第 2720 地区スローガン「みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ」を掲げる藤田千克由ガバナーのもと、各ロータリークラブにおいて様々な充実した奉仕活動が実践されて参りました。

新年にあたり、このスローガンを再認識し、また、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進する、という国際ロータリーの目的を実現すべく、今年も、みんなで、よいことのために手を取りあいましょう。

以上、私の代表挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。

■ ご来賓祝辞

◆ (熊本県知事 木村 敬さま)

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

併せて、本日の熊本市域ロータリークラブ新春合同例会が、盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。



熊本市域ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃より県政への御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、奉仕の理念のもと、青少年の健全育成やボランティア活動など、様々な社会貢献活動に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。本年も、会員の皆様の交流がさらに深まり、活動の輪が一層広がることを期待しております。

さて、昨年は八月に記録的な集中豪雨が発生し、県内の広範囲で甚大な被害が生じました。犠牲となられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く被災された皆様の生活や事業が再建され、「県民みんなが安心して笑顔になる」熊本の実現に向け、全庁一丸となって全力で取り組んでまいります。

また、喫緊の課題である半導体関連産業の集積に伴う交通渋滞の解消や地下水保全、人材の育成・確保、外国人人材との共生、そして「こどもまんなか熊本」の実現につきましては、私をトップとする五つの推進本部を通じて、全庁横断的に課題解決に向けた取組を進めてまいりました。

知事就任三年目を迎える本年は、これまで種をまき、育ててきた様々な政策が、一つずつ確実に花開き、実を結び、大きく成長していく一年としなければならないと、決意を新たにしております。

「くまもと新時代共創基本方針」のもと、「現場主義」を大切にしながら、県民の皆様とともに対話と挑戦を続け、「県民が主人公の県政」を推進してまいりますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、熊本市域ロータリークラブのさらなる御発展と、会員の皆様の益々の御健勝、御活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

■ ご来賓祝辞

◆ (熊本市長 大西 一史さま)

新年、明けましておめでとうございます。

本日、熊本市域ロータリークラブ新春合同例会が、このように多くの皆様のご臨席のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

熊本市域ロータリークラブの皆様方におかれましては、日頃から、地域の清掃や植樹活動など、様々な社会貢献活動を通じて、地域の発展にご尽力いただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、昨年は、こども施策の基本方針である「こども計画」のスタートや、市役所の新庁舎整備及び庁舎周辺まちづくりの本格的な検討開始、熊本西陵状道路池上工区の開通など、市民の皆様により豊かな暮らしの実現に向け取り組んだ一年となりました。

また、八月に発生した大雨の対応では、熊本地震の教訓と経験を生かし、発生直後から被災者の生活再建に必要な支援を迅速に実

施したほか、本市独自の支援策を講じるなど、被災した方々に寄り添った対応を行ってまいりました。

新しく迎える本年は、熊本地震から十年の節目の年となります。これまで多くの方々からいただいた温かいご支援、そして、市民の皆様のご多大なるご協力に改めて深く感謝申し上げます。皆様に支えられた日々を、今度は私たちが誰かを支え、助け合う力に変え、安全・安心で災害に強いまちづくりに努めてまいります。

また、総合的なこども施策の推進や、交通渋滞の解消及び公共交通施策の加速化、半導体関連企業の進出に伴う諸課題への対応など、市民の皆様のご暮らしを守り、明るい未来を築くための施策を全庁一丸となって推進いたします。

任期最終年を迎え、改めて初心に返り、市民の皆様や関係機関の皆様と共に、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向けた歩みを進めてまいりたいと思いますので、皆様方におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを、心から祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

■ 幹事代表報告

(熊本西陵 RC 副幹事 加藤 誠貴)



1. RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会)
パートⅢの開催ご案内
開催日 2月21・22日 (コンパルホール大分)
登録締切: 1月30日

2. こども屋台選手権チーム出場申込について
開催日: 5月23日 (土)
申込締め切り: 1月31日 (木)

■ 閉会・点鐘

(熊本西陵 RC 会長 益田 博文)

■ 懇親会

(司会 熊本西陵 RC 親睦委員長 三船 恵子)

■ アトラクション①

相撲甚句

(坂口 幹夫さま)



■乾杯

(R I 第2720地区 副ガバナー 三村 彰吾)



■アトラクション②

津軽三味線

(高崎 裕士さま)



■スマイル報告

(熊本西陵 RC スマイル担当 竹本 龍一)



■熊本県ロータリー奨学会へ目録贈呈

(熊本西陵 RC 会長 益田 博文)

(熊本県ロータリー奨学会理事長 小野 友道)



■各ロータリークラブよりのお知らせ



■乾杯

(熊本水前寺公園 RC 会長 永野 陽子)



■ロータリーソング

「手に手つないで」

(熊本西陵 RC ソングリーダー 丸谷 均)



■ 会場の様子



■ 歓談



■ 2 次会 「於：瑞恵」



◆餅つき大会のご報告

年末恒例の餅つき交流会を、内田会員宅にて開催いたしました。当日は総勢 30 名ほどが参加し、天候にも恵まれ、絶好の餅つき日和となりました。

餅つきは、もち米を蒸す工程から始まり、参加者全員で力を合わせて準備を進めました。出来上がった餅は、餡入り餅、苺大福、きな粉餅など多彩な内容となり、あわせて差し入れとして野沢菜や数の子、さらに蒸したての赤飯も振る舞われました。

出来立てならではの味わいを囲みながら、参加者同士の会話も弾み、年の瀬らしい温かく和やかなひとときを共有することができました。

また、米山奨学生のギゲイティさんは、今回が人生で初めての餅つき体験となりました。日本の年末行事を実際に体験し、強い感動を受けている様子が印象的で、国や世代を超えた交流の意義を改めて感じる機会となりました。



◆ロータリーボイス イヤサー Ale ビールで復興にエールを — 能登半島地震復興の「支援」から「応援」へ —

寄稿：越田 喜規（氷見ロータリークラブ会員）



能登半島地震からの復興が続く中、氷見ロータリークラブでは、従来の物資提供などによる「支援」から、地域の賑わいを創出する「応援」へと活動を発展させています。

その一環として、氷見市内のクラフトビール事業者と連携し、復興応援ビール「イヤサー Ale」を企画・製造。1 缶あたり約 400 円を能登半島地震復興応援として氷見市へ寄付するほか、市内飲食店や宿泊施設等で販売し、地域振興と観光活性化にもつなげています。

ビールの名称「イヤサー Ale」は、氷見の祭りの掛け声「イヤサー（弥栄）」に、復興への「エール」と「エールビール（Ale）」を重ねたもの。氷見寒ぶりのシーズンに合わせて販売が開始され、イベントやロビーコンサートでの提供も行われました。



初回製造分 2,000 本は好評のうちに完売し、第 2 弾（2026 年初夏予定）を期待する声も多く寄せられています。

氷見ロータリークラブでは、今後も創意工夫を重ねながら、能登半島地震の復興を「応援」する活動を継続してまいります。